

図書館をよりよい学習環境にするためには

C1231872 柳澤 威留

私は、これまで以上に利用したくなる図書館を作るためには、冷房や暖房などの設置などの設置を見直し、個室を図書館内に建設することを提案します。

なぜ、冷房・暖房が図書館に完備されているのにもかかわらず、冷房・暖房の設置を見直すべきだと提案する理由は、実際に資格の勉強や授業外学修をするためには、静かな環境を求めて、図書館を利用するのですが、地球温暖化、また節電、そして本を守るという3つの観点から温度を調整しているとは思うのですが、図書館がこもつてしまっており、夏は、長期休暇が始まるまでの期間とても暑い環境、そして冬は、暖房の温度が比較的高く設定されているのか、夏同様暑い環境になっている現状です。

その現状を打破するためにも、図書館にある暖房や冷房の設置を見直すべきではないかと考えます。なぜそのように考えたのかというと、先ほど現状でもあげたとおり、夏休み前までの間とても暑い環境におかされると、勉強のゾーンに入っている人でも、熱中症のリスクが高まってしまうし、実際に、熱中症の約4割が室内でおきているというデータもあることも踏まえて、図書館内にある暖房・冷房の設置を見直すことを提案します。

次に、図書館内に個室を建設するという観点です。図書館内に個室を建設することによって、利用者自身が冷房・暖房の温度を調整することができる、人の話し声・筆記音などをはじめとする環境音によって勉強の妨げになる要因を最小限にすることができる、私自身の話になってしまいますが、図書館で勉強している際に、自分の後ろを通る人や人目がすごく気になってしまい、勉強のゾーンに中々入ることができず、集中することを求めて図書室を利用しているのにも関わらず、集中できず閉館時間を迎してしまうということがあります。そのため個室を図書館内に設けるということは、自分のような人のニーズにもこたえた形になり、3つのメリットをあげることができます。それとは逆に、コストの問題がデメリットであるといえます。個室の建設費、個室を作るということが実現された場合、冷房・暖房の台数は今ある台数から増えるため、電気代も上がってしまいます。電気代が上がってしまうことにより、図書館内では新しい本が買えなくなってしまい、新しい本を読むために、図書館を利用にきたという人のニーズにはこたえられないということになってしまします。以上の観点から、メリット3つ・デメリット2つはありますが、学習環境を整え

るという観点、そして、これまで以上に利用したくなる図書室を作るという観点では、冷房や暖房の設置を見直すということ、そして、図書室内に個室を建設するという 2 つのことを、私は提案します。

参考文献：マド本舗「お役立ちコラム 室内で起こる熱中症の危険性」
<www.pattolixil-medohonpo.jp> (参照 2024-08-01)